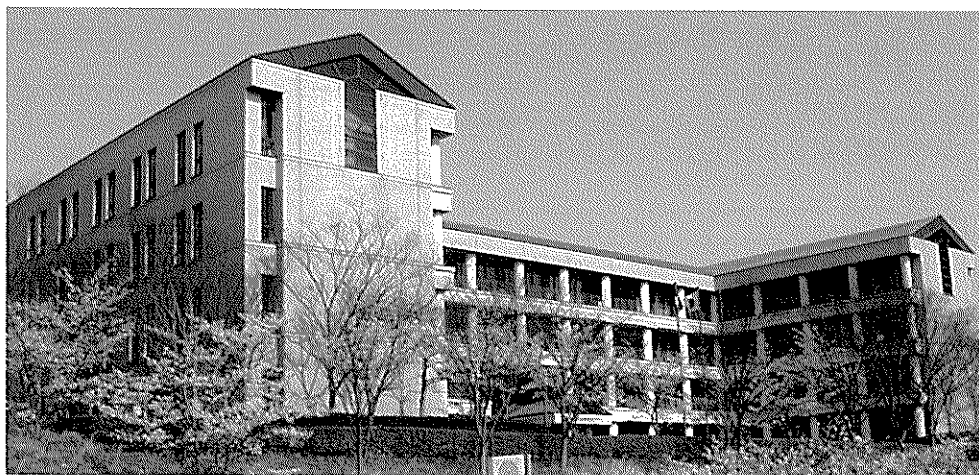


ここから始まる学びの場



— 学習・体験・交流の広場 —

平成18年度 要覧

福岡県立社会教育総合センター



目 次

平成18年度事業と予算

02

1. 事業
2. 予算

平成17年度実績

06

1. 事業
2. 施設の利用状況
3. 学習相談状況
4. 家庭教育相談「親・おや電話」

施 設 概 要

15

1. 建築概要
2. 施設設備
3. 福岡県視聴覚ライブラリー
4. 利用案内
5. 使用料一覧

組 織 ・ 機 構

21

職員数・職員一覧

22

沿 革

23

施 設 配 置 図

25

交 通 案 内

26

県立社会教育総合センターは、昭和59年に少年自然の家との複合施設として設置され、今年で22年目を迎えます。県民の生涯学習を支援する社会教育施設として①県民の学習活動支援、②子どもの育成支援、③社会教育関係者等の養成支援に取り組んでいます。

平成18年度は、＜改善＞＜連携＞＜広報＞＜研鑽＞をキーワードに努力して参りますので、主催事業への参加や研修施設の活用等、ご利用をお待ちしています。



平成18年度 事業と予算

事業

① 県民の学習活動支援

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
学習情報提供・学習相談	「ふくおか生涯学習ネットワーク」の運用	○生涯学習に関する様々な情報を収集し、Web上の提供、リンクの拡大、メールマガジンの充実等を図り、県民の様々なニーズに応える	県民一般、国、県、市町村、各団体、各施設	通 年
	図書資料の収集・整備・提供	○生涯学習・社会教育に関する資料の収集、整備、提供を行う	県民、行政関係者、社会教育関係者等	通 年
	視聴覚教材の収集・貸出	○生涯学習・社会教育・学校教育において効率的な学習活動の推進に資するため、視聴覚教材の収集や貸出を行う	県民、学校、施設、団体等関係者	通 年
	学習相談員の配置及び相談活動	○学習相談員を配置し、学習者の様々な相談に応じる	県民、行政関係者、社会教育関係者等	通 年
調査研究	社会教育基礎データ調査研究	○社会教育に係る基礎的なデータの収集、整理を行い、その有効活用について調査研究を行う	国、県、市町村、各団体、各施設	通 年
	学社連携・融合に関する実証的研究事業	○施設における学社連携・融合プログラムの実証的な研究を行う セカンドスクールの実証的研究事業	宇美町立桜原小学校	10月16日（月）～10月20日（金）（5日間）
成人等の学習・交流・ボランティア等支援	ヤングサポーター養成講座	○ボランティアに関する講義や体験活動を通してボランティアの基礎知識や技術の習得を図る ◎プログラム ・講話（ボランティア活動の基本） ・実習（ボランティアの体験）	県内中・高・大学生50名	7月16日（日） 10月8日（日）
	ボランティア活性化促進事業	○県立社会教育施設間の交流等を通してボランティア活動の活性化を図る ◎プログラム ボランティア（実行委員会）による企画、運営 ・講話、実践	県立社会教育施設ボランティア	1月20日（土） 1月21日（日）
	センター学習ボランティア「若杉の会」の支援活動	○「若杉の会」の活動を支援することによって会の活性化を図るとともに、主催事業等においてのボランティア活動の場を提供する	若杉の会員等	通 年
	生涯学習応援隊	○市町村教育委員会等が主催する研修会や事業の企画・運営に、「講師」「助言者」としてセンター職員を派遣する	市町村、社会教育関係団体等	通 年
	ゆず湯の会	○冬至の時期にあわせて「ゆず湯」等を地域住民に提供し交流を図る ◎プログラム ゆず湯入浴、クラフト活動、ビデオ上映等	篠栗町内を中心とした地域住民	12月16日（土）
	第49回福岡県青年大会	○芸能文化を中心に日頃の活動発表を通して相互の交流を図る ○全国青年大会の予選を兼ねる ◎プログラム ステージ発表、展示等	県内に居住している青年及び青年を中心に活動している団体	9月3日（日）

② 子どもの育成支援

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
	「和き合い愛塾」in ささぐり	○障害のある子どもたちに自然体験、宿泊体験などの体験活動の機会を提供する ◎プログラム ・子どもの活動（絵画、ハイキング等） ・大人の活動（家庭教育相談、交流会等） ・親子の活動（音楽鑑賞等）	障害のある児童生徒とその家族20家族程度 支援ボランティア	8月19日（土） 8月20日（日） 10月14日（土） 10月15日（日）

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
子どもの体験活動支援	ワクワク・ドキドキ・ウィークエンド	○1泊2日の自然体験、異年齢生活体験を中心とした様々な体験活動を提供する ◎プログラム ・地域行事参加（夏祭り） ・クラフト活動、キャンプファイヤー	小学1～6年生等 100名程度 支援ボランティア	7月8日（土） 7月9日（日） 12月2日（土） 12月3日（日）
	子どもの体験活動カーニバル	○地域住民に施設を開放し、学習・交流の場を提供する ◎プログラム 体験コーナー（クラフト、野外調理等）	篠栗町内を中心とした地域住民（親子等）及び県内の体験活動支援者	11月12日（日）
	ささぐり若杉カップ	○中学生女子バレーボール大会 バレーボール大会を通じて、県内女子中学生の交流を図る ○小学生ミニバスケットボール大会 バスケットボールを通じて、小学生の交流を図る	県内中学生女子 県内小学生男女	バレーボール 1月6日（土） 1月7日（日） バスケット 2月3日（土） 2月4日（日）
家庭教育支援	家庭教育相談電話「親・おや電話」	○主として幼児期から少年期における子どもの親（保護者）を対象に家庭教育全般にわたる相談に応じる ・電話による相談 ・面談による相談	幼児期から少年期までの親（保護者）等	月～土曜日 （第2月曜日・祝日・年末年始除く）
	子育てネットワークinふくおか	○子育てグループ、サークル、子育て支援者及び行政関係者等が研修・交流を通して学習し合い、活動の活性化を図るとともに、子どもたちに様々な体験活動を提供する ◎プログラム *大人プログラム 1日目 リレートーク 2日目 分科会・全体会 *子どもプログラム 遊びの体験活動 ◎子育て支援冊子「はじめのいっぽ」（プレイパーク編）の編集発行	子育てグループ、サークル、子育て支援関係者、行政関係者及び子育てに関心のある方	10月28日（土） 10月29日（日）
	「ふくおか子育てパーク」の運用	○ITを活用した次世代型家庭教育支援事業 ◎パソコンや携帯電話を活用した、子育てに関する情報の提供 ◎パソコンや携帯電話を活用した、子育てに関する相談の実施	県民一般、国、県、市町村、各団体	通 年

③ 社会教育関係者等の養成支援

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
行政職員等研修	社会教育新任職員研修	○生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識・技能・施策等についての研修を行い、生涯学習・社会教育関係職員としての資質と能力の向上を図る ◎プログラム 講義、グループ別協議、情報交換会等	生涯学習・社会教育 新任課長・公民館長・係長・係員 社会教育主事等	7月18日（火） 7月19日（水）
	市町村社会教育委員 新任者研修	○新たに委嘱された市町村の社会教育委員等を対象に、社会教育委員の役割や当面する社会教育の課題等について研修し、生涯学習時代に即応した社会教育の振興に役立てることをめざす ◎プログラム 講義、実践発表、グループ別情報交換	市町村社会教育委員 就任後1年未満の者	7月3日（月）
	教育ファシリテーション初級技能講座（新規）	○学校や社会教育の場で盛んに取り入れられている参加型学習の学習促進者として、必要な技能を体験・演習・講義を通して専門的に学習し、教育ファシリテーション初級技能を習得する。 ◎プログラム 講義、演習、体験活動等	県及び市町村の社会教育主事、社会教育関係職員、学校教育職員、社会教育関係団体指導者	6月5日（月） 6月19日（月） 6月26日（月） 7月4日（火） 7月11日（火）

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
技能・技法研修	カウンセリング講座	○各種相談機関の相談員を対象に、多様化・複雑化・高度化する援助ニーズに的確に対応するためのカウンセリング技法を高める	県・市町村教育委員会及び各相談機関で相談業務に従事する相談員	10月2日(月) 10月30日(月) 11月1日(水) 11月20日(月) 11月27日(月) 12月4日(月)
	16mm映写機操作技術講習	○16mm映写機の操作技術を習得するための講習を行う ◎プログラム ・視聴覚教育の意義と方法 ・映写機の仕組み、フィルムの取り扱いと管理 ・視聴覚ライブラリーの利用方法等	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	8月11日(金) 11月6日(月)
	宿泊体験教室事前講座(新規)	○宿泊利用予定の学校等を対象に、施設の特徴や活動を事前学習することにより効果的な実施を図る	センター利用予定の小・中・高等学校教諭、団体等	6月16日(金) 2月23日(金)
	野外活動・レク実践講座(新規)	○野外活動やレクリエーション、アイスブレイクなど、指導者が様々な場面や活動に役立つ技能や技法を習得することを目的とする	県及び市町村生涯学習・社会教育行政関係者、社会教育団体、学校関係者、民間指導者	6月24日(土) 9月16日(土)
課題研修	社会教育専門講座 ①青少年教育 ②社会教育行政(新規)	○社会教育行政が変革期を迎える中、市町村の行政課題も増加しており、その課題解決が急務となっている。そこで、本年度は特に、青少年教育事業や社会教育行政施策のあり方等を見直し、実践的講座を実施することで、その課題解決を図る。 ◎プログラム ①青少年教育 ②社会教育行政 ・事業や施策の状況診断、問題発見 ・具体的な解決プログラムの作成・実践・検証 ・他市町村への解決プログラム等の情報提供(実践発表会、事例集作成)	市町村生涯学習・社会教育行政関係職員、県教育事務所職員、各社会教育施設職員	6月1日(木) 7月21日(金) 8月18日(金) 10月20日(金) 1月22日(月) ※日程は、研修グループ間の調整により変更することもあります。
	生きる力を育む「子ども体験活動」推進セミナー (学社連携・融合事業)	○社会教育関係者や学校教職員が一堂に会し、子ども達にとって有効な体験活動プログラムの検証や、子どもの成長に必要な体験活動を、誰が、どう担うのかについて研鑽し、「子どもの体験活動」の質と量の高まりを目指す ◎プログラム 分科会、講演、シンポジウム等	市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員、学校教職員、地域活動指導員、地域子ども教室関係者、アンビシャス広場関係者、PTA、NPO、ボランティア関係者等	12月5日(火)
	子育てアドバイザーセミナー	○子育てアドバイザー(子育てサポーターリーダー)が子育てに関する専門的知識や技能の習得さらには相互の実践交流を通じて、子育てアドバイザーとしての資質の向上を図る ◎プログラム 講義(子育てに関する専門的知識) 演習(子育てに関する専門的技能) 出前講座(県内子育て情報収集と交流)	アドバイザー、子育て(支援)グループ関係者等	6月5日(月)(社セ) 9月7日(木)(筑後地区) 9月15日(金)(筑豊地区) 10月5日(木)(福岡地区) 10月13日(金)(社セ)(予定)
	男女共同参画推進セミナー	○県・市町村の生涯学習・社会教育関係職員、女性団体リーダー等を対象に、男女共同参画の実現のために必要な基本的知識や政策について研修し力量を高める ◎プログラム 講演、シンポジウム等	県及び市町村の生涯学習・社会教育関係職員・男女共同参画行政担当職員、女性団体リーダー等	9月9日(土)
	高齢者社会参加促進セミナー	○高齢社会に対応した社会参加プログラムの開発や学習の成果を活かした活動の充実をめざす ◎プログラム ・事例発表、講演等 ・高齢者大学事務局担当者説明会	高齢者大学等事務局担当者及び県・市町村担当者等	2月22日(木)
	NPO等連携・協働推進セミナー	○NPO等の活力を生かした生涯学習の振興を図るための連携、協働推進方策を探る	県及び市町村行政職員、各市町村社会教育委員、NPO等関係者等	8月10日(木)

事業名	ねらい・内容	対象	期間
交流研修 中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会 第25回記念大会	○「まちづくり」「ひとづくり」に取り組んでいる関係者が一堂に会し、実践発表を通して相互の研鑽と交流を図る ◎プログラム ・1日目(5/19) 前夜祭・実行委員会 ・2日目(5/20) 研究発表・特別報告 ・3日目(5/21) 特別企画	生涯学習・社会教育関係者等	5月19日(金)～5月21日(日)

＜当センターにおいて県生涯学習課等他団体が主催もしくは共催する社会教育関係事業＞

事業名	ねらい・内容	期間
社会教育主事等新任者研修会	○県社会教育主事等の役割について理解を深め、社会教育主事に求められる能力及び実践的力量的向上を図る ◎プログラム 講義、グループ討議	4月20日(木)
県社会教育主事研修会		4月21日(金)
地域活動指導員研修会	○地域活動指導員の役割について理解を深めるとともに、子どもの生きる力を育むための様々な体験活動の企画・立案力及び指導力等の向上を図る ◎プログラム 講話、講演、実践発表	6月30日(金)
県盲聾養護学校父母教師会連合会指導者研修	○県立盲・聾・養護学校のPTA指導者を対象に、組織の在り方や運営の方法など、当面する諸問題についての研修を行い、幹部としての資質の向上を図る ◎プログラム 説明、講演、分科会	10月23日(月)
県PTA連合会幹部研修会	○小・中PTAの幹部役員等を対象に、PTA活動の在り方や指導者としての役割について学習を深めるとともに、心豊かな子どもを育てる家庭教育の充実を図る方策について研修する ◎プログラム 講演、ワークショップ	9月10日(日)
公民館実践交流会	○公民館の関係者が一同に会し、日頃の実践の発表・交流を通じて、生涯学習社会の公民館活動の在り方を考える ◎プログラム 実践発表	2月9日(金)
県社会教育研究大会	○県内の社会教育委員をはじめ社会教育関係者が一堂に会し、社会教育の在り方や社会教育委員の役割等について研究協議することにより本県の社会教育の充実・振興を図る ◎プログラム 講演、シンポジウム	9月20日(水)
生涯学習フォーラム「この指とまれ」	○県内外を問わず、生涯学習・社会教育・学校教育関係者が月に一度、この指とまれ方式で集まり、事例・論文発表を通して研修を深め、実践的力量的資質の向上を図る ◎プログラム 事例発表、論文発表	原則として毎月第3土曜日

予 算

単位：千円

課名	目名	事項名(事業名)	予算額
生涯学習課	社会教育総務費	社会教育指導者等研修事業費	126
		女性教育指導者研修費	28
		社会教育専門研修	98
	社会教育施設費	青少年教育振興事業費	4,621
		家庭教育充実事業費	1,566
		障害児体験活動支援事業費	4,801
		生涯学習情報提供システム運営費	88,163
		社会教育総合センター運営費	1,391
		社会教育総合センター事業費	33,286
		社会教育総合センター整備費	
	合 計		134,080



平成17年度実績 ～こんなことをしました～

1 事業

① 青少年体験活動推進事業

事業名	対象	期間	参加者数等
子どもの体験活動の機会・場の提供	「和き合い愛塾」inささぐり	1 回目 8月20日(土)～21日(日) 2 回目 10月15日(土)～16日(日) 3 回目 3月11日(土)～12日(日)	62名 56名 77名
	ワクワク・ドキドキ・ウィーク エンド	1 回目 7月9日(土)～10日(日) 2 回目 12月3日(土)～4日(日) 3 回目 2月18日(土)～19日(日)	164名 145名 94名
指導者等の研修	生きる力を育む「子どもの体験活動」推進セミナー(学社連携・融合事業)	11月10日(木)	388名
	青少年体験活動コーディネート 研修	6月23日(木) 2月14日(火)	60名 58名

② 家庭と地域の教育力支援事業

事業名		対 象	期 間	参加者数等
家庭教育相談	家庭教育相談電話「親・おや電話」	親（保護者）等	月～土曜日 9：00～24：00 (24：00～9：00は留守番電話とファクシミリで対応) ※第2月曜日・祝日・国民の休日・年末年始は除く	相談件数 1,331件
指導者等の研修	子育てアドバイザーセミナー	子育てアドバイザー、子育て(支援)グループ関係者等	9月21日(水) 9月29日(木) 10月14日(金) 10月22日(土) 11月18日(金)	61名 62名 47名 65名 70名
	カウンセリング講座(第3期)	県・市町村教育委員会及び各相談機関で相談業務に従事する相談員	9月29日(木) 10月6日(木) 10月20日(木) 10月27日(木) 11月4日(金) 11月11日(金)	27名 27名 27名 27名 27名 27名

事業名		対象	期間	参加者数等
子育てグループ等の交流	子育てネットワークinふくおか	子育てグループ、サークル、子育て支援関係者等	9月17日(土)～18日(日)	300名 大人200名 小人100名

③ 学習の機会・場の提供の拡充事業

事業名		対象	期間	参加者数等
学習の機会 の提供・ 施設の開放	子どもの体験活動カーニバル	篠栗町内を中心とした地域住民(親子等)及び県内の体験活動支援者	11月13日(日)	900名
	ゆず湯の会	篠栗町内を中心とした地域住民	12月17日(土)	306名
	第2回ささぐり若杉カップ「中学生女子バレーボール」大会	県内中学生女子	1月7日(土)～8日(日)	560名
	第2回ささぐり若杉カップ「小学生ミニ・バスケットボール」大会	県内小学生男女	2月4日(土)～5日(日)	521名
	初心者IT講習	県民一般	1回目 9月13日(火) 9月14日(水) 9月15日(木) 2回目 11月29日(火) 11月30日(水) 12月1日(木)	33名 38名
	子ども陶芸教室	篠栗町近隣の小学生(1～6年)	9月24日(土) 11月19日(土)	37名

④ 調査研究事業

事業名		対象	期間	参加者数等
基 礎 社 会 教 育 タ	社会教育調査	市町村教育委員会 社会教育施設等	通 年	
家 庭 教 育	家庭教育調査研究事業	4、5歳児を持つ保護者	通 年	
	ITを活用した次世代型家庭教育支援手法開発事業「ふくおか子育てパーク」の開設・運用	子育て中の親、子育てや子どもに関心ある人、また活動を行っている人	10月～	アクセス数 172,215件
学 ・ 社 連 携	学社連携・融合に関する実証的研究事業	宇美町立桜原小学校	10月17日(月)～21日(金) (5日間)	

⑤ 学習情報提供・学習相談事業

事業名		対象	期間	参加者数等
情報整理・収集・提供	ふくおか生涯学習情報システムの運用	県民、国、県、市町村、各団体、各施設	通 年	アクセス数 62,695件
	図書資料の収集・整備・提供	県民、行政関係者、社会教育関係者等	通 年	
相学 談習	学習相談員の配置及び相談活動	県民、行政関係者、社会教育関係者等	通 年	相談件数 1,476件
県視聴覚 利用促進 ライブラリー	視聴覚教材の収集・貸出	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	通 年	
	16mm映写機操作技術認定講習	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	1回目 8月12日(金) 2回目 11月7日(月)	11名 12名

⑥ 社会教育関係者等の研修事業

事業名		対象	期間	参加者数等
基 本 研 修	社会教育新任職員研修	生涯学習・社会教育新任課長・公民館長・係長、係社会教育主事等	1回 5月12日(木) 2回 6月30日(木) 3回 9月22日(木) 4回 11月25日(金)	78名 71名 51名 56名
	マルチメディア研修	市町村、社会教育関係機関職員	6月28日(火) 29日(水)	23名
	市町村社会教育委員新任者研修	市町村社会教育委員就任後1年未満の者	6月10日(金)	67名
専 門 ・ 課 題 別 研 修	学習プログラム企画・立案講座	県及び市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員	1月19日(木) 26日(木) 27日(金)	16名 16名 16名
	男女共同参画推進セミナー	県及び市町村の生涯学習・社会教育関係職員・男女共同参画行政担当職員、女性団体リーダー等	9月10日(土)	207名
	高齢者社会参加促進セミナー	ふくおか高齢者大学事務局担当者及び県・市町村関係・担当者等	2月24日(金)	57名
	家庭教育支援推進セミナー	社会教育関係・生涯学習関係・家庭教育支援関係者	7月7日(木)	68名
	NPO等連携・協働推進セミナー	社会教育・生涯学習関係職員等	12月8日(木)	45名
	女性のための在宅ワーク入門講座	在宅ワークをこれから始めたい、始めて間もない女性	10月5日(水)～13日(木) 土日祝日除く計6日間 10:00～16:00	20名×6日
	地域アニメーター養成講座	生涯学習・社会教育関係者、ボランティア、NPO、各種アドバイザー等	9月29日(木)～ 18年1月26日(木) 18:30～20:30 毎週木曜日 <15日間>	42名×15日

事業名		対象	期間	参加者数等
専門・課題別研修	人間関係スキルアップ講座	対人援助に関する仕事に就きたい方、そのような職業に興味のある方	10月1日(土) ～12月10日(土) 14:00～17:00 毎週土曜日 <10日間>	35名×10日
	社会教育フォーラム「変革期の社会教育を考える」	市町村教育委員会教育長、教育委員、市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員、公民館関係職員、教育事務所・県社会教育施設社会教育主事等、社会教育委員、その他関係者	1月17日(火)	300名
実践・交流研修	中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会第24回大会	生涯学習・社会教育関係者等	5月20日(金) 21日(土) 22日(日)	375名
	第48回福岡県青年大会	県内に居住している青年及び青年を中心に活動している団体	9月4日(日)	200名

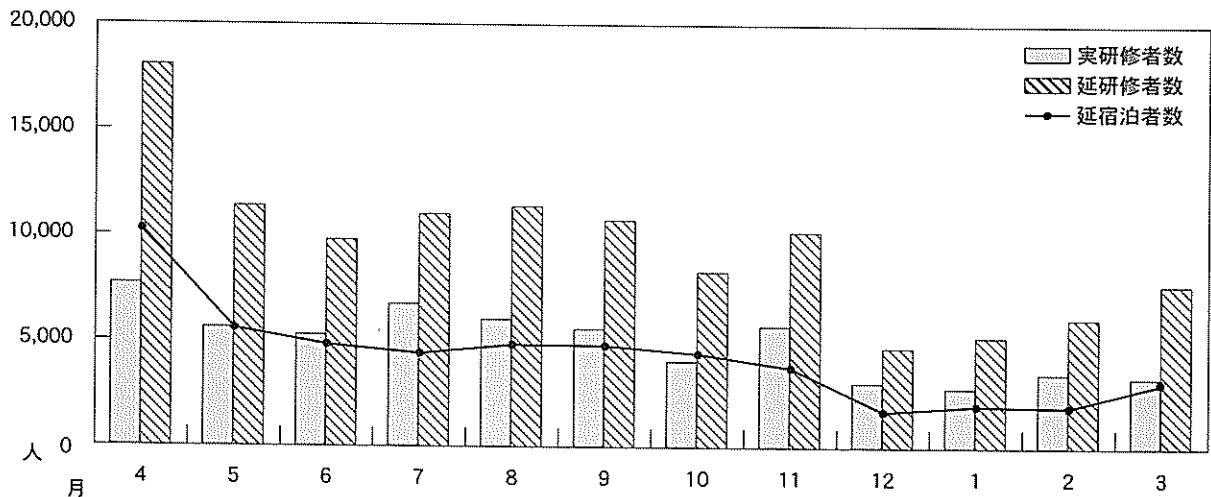
⑦ 学習ボランティア活動支援事業

事業名		対象	期間	参加者数等
学習ボランティア養成・研修	ヤングサポーター養成講座	県内中・高・大学生	7月2日(土) 11月5日(土)	21名 22名
	ボランティア活性化促進事業	県立社会教育施設ボランティア等	1回目 6月18日(土) 2回目 1月28日(土)～29日(日)	35名 32名
学習ボランティア活動の支援	主催事業における活動の場の提供事業	ヤングサポーター養成講座修了生等		
	センター学習ボランティア「若杉の会」の支援	「若杉の会」会員		

施設の利用状況

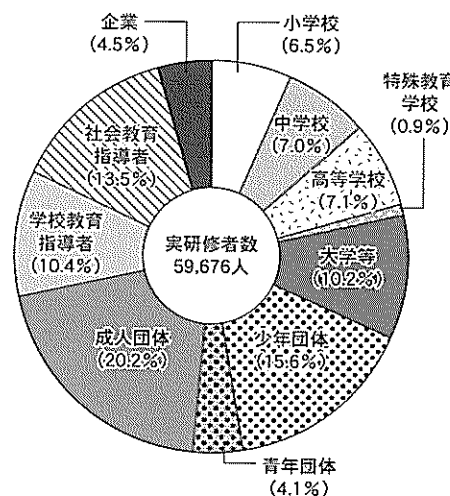
① 月別利用状況

区 分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実研修者数	16	6,987	5,632	5,753	6,350	4,053	5,435	4,862	5,535	2,357	2,983	3,504	3,573	57,024
A	17	7,520	5,609	5,264	6,746	6,012	5,767	4,046	5,717	3,048	2,798	3,637	3,512	59,676
延研修者数	16	16,775	12,876	9,929	12,791	9,685	10,385	9,120	8,307	5,005	4,289	5,179	6,499	110,840
B	17	18,045	11,371	9,775	11,005	11,372	10,722	8,283	10,184	4,701	5,211	6,087	7,649	114,405
延宿泊者数	16	10,044	6,673	4,433	5,078	4,364	5,229	4,259	2,385	1,995	1,144	1,702	2,740	50,046
C	17	10,269	5,419	4,637	4,222	4,648	4,617	4,235	3,559	1,445	1,833	1,644	3,462	49,990
団 体 数	16	71	86	104	118	84	97	126	101	80	84	93	136	1,180
D	17	122	129	135	143	140	99	119	89	63	62	72	110	1,283
開 所 日 数	16	30	30	28	30	31	28	29	28	26	25	26	29	340
E	17	30	30	29	30	31	28	29	28	26	25	26	29	341
宿泊可能日数	16	30	29	26	29	31	26	27	26	24	23	24	28	323
F	17	30	29	28	29	31	26	27	26	24	23	24	27	324
研修者数	16	559.2	429.2	354.6	426.4	312.4	370.9	314.5	296.7	192.5	559.2	199.2	224.1	326.0
B / E → G	17	601.5	379.0	337.1	366.8	366.8	382.9	285.6	363.7	180.8	208.4	234.1	263.8	335.5
利 用 率	16	177.0	135.8	112.2	134.9	98.9	117.4	99.5	93.9	60.9	177.0	63.0	70.9	103.2
G / 316 → H	17	190.3	119.9	106.7	116.1	116.1	121.2	90.4	115.1	57.2	65.9	74.1	83.5	106.2
宿 泊 人 数	16	334.8	230.1	170.5	175.1	140.8	201.1	157.7	91.7	83.1	49.7	70.9	97.9	154.9
C / F → I	17	342.3	186.9	165.6	145.6	149.9	177.6	156.9	136.9	60.2	79.7	68.5	128.2	154.3
宿 泊 率	16	105.9	72.8	54.0	55.4	44.6	63.6	49.9	29.0	26.3	15.7	22.4	31.0	49.0
I / 316 → J	17	108.3	59.1	52.4	46.1	47.4	56.2	49.7	43.3	19.1	25.2	21.7	40.6	48.8



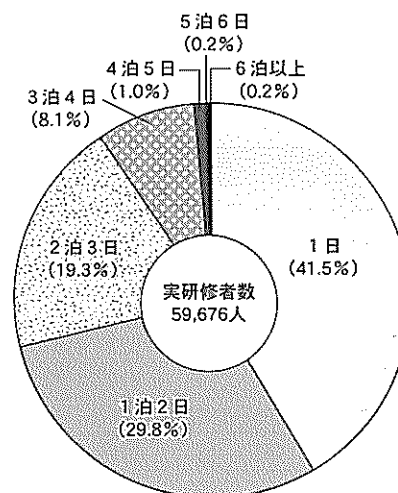
② 団体種別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
学 校 利 用			
小 学 校	100	3,890	6.5%
中 学 校	69	4,192	7.0%
高 等 学 校	59	4,246	7.1%
特 殊 教 育 学 校	22	518	0.9%
大学・短大・高専・専修・各種学校	73	6,063	10.2%
小 計	320	18,901	31.7%
少 年 団 体	160	9,288	15.6%
青 年 団 体	42	2,435	4.1%
成 人 団 体	469	12,043	20.2%
学 校 教 育 指 導 者	74	6,216	10.4%
社 会 教 育 指 導 者	147	8,086	13.5%
企 業	68	2,699	4.5%
そ の 他	0	0	0.0%
合 計	1,283	59,676	100.0%



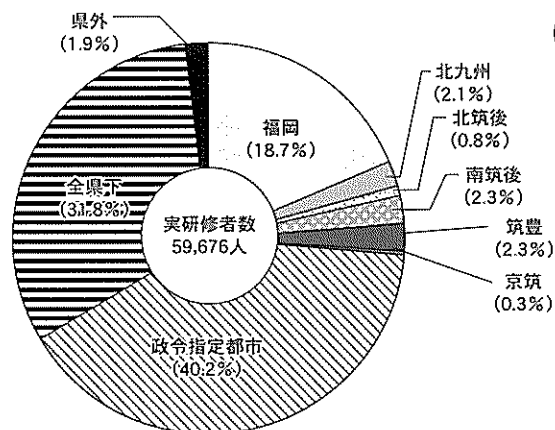
③ 一日研修・宿泊研修

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
1 日	842	24,747	41.5%
1 泊 2 日	276	17,776	29.8%
2 泊 3 日	99	11,505	19.3%
3 泊 4 日	51	4,852	8.1%
4 泊 5 日	9	583	1.0%
5 泊 6 日	3	109	0.2%
6 泊 以上	3	104	0.2%
合 計	1,283	59,676	100.0%



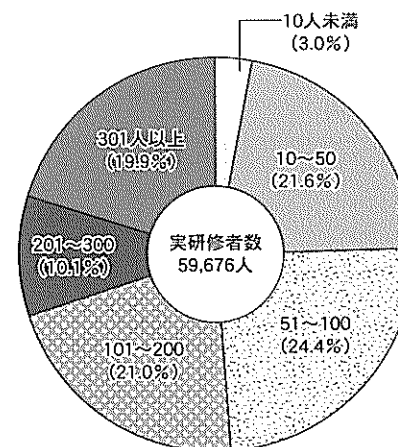
④ 地域別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
福岡	433	11,162	18.7%
北九州	22	1,263	2.1%
北筑後	13	469	0.8%
南筑後	58	1,112	2.3%
筑豊	56	1,365	2.3%
京筑	5	195	0.3%
政令指定都市	433	23,996	40.2%
全県下	235	18,960	31.8%
県外	28	1,154	1.9%
合 計	1,283	59,676	100.0%



⑤ 団体規模別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
10人未満	361	1,778	3.0%
10～50	591	12,899	21.6%
51～100	185	14,568	24.4%
101～200	94	12,504	21.0%
201～300	25	6,051	10.1%
301人以上	27	11,876	19.9%
合 計	1,283	59,676	100.0%



3 学習相談状況

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	相談方法		
相 談 件 数		77	156	183	204	131	150	182	102	82	89	70	50	1,476	来所	電話	文書
相 談 人 数		77	156	183	204	131	71	182	102	82	89	70	50	1,397			
相 談 者 別 内 訳	① 市 町 村 (首長部局・教委等)	28	26	53	46	30	37	47	19	16	11	15	15	343	60	281	2
	② 県 (知事部局・③を除く教委)	2		2	10	2	1	3	4	1	1	4	1	31	19	12	
	③ 教 育 事 務 所 ・ 県立社会教育施設	7	29	26	22	15	50	7	16	19	31	14	4	240	152	88	
	④ 学 校 (幼・小・中・高・大)	21	59	44	71	35	30	44	42	20	12	23	6	407	120	287	
	⑤ 団 体 ・ グ ル ー プ	14	29	34	26	45	32	51	16	24	12	13	5	301	91	184	26
	⑥ 個 人	1	3	15	2	3		23	3		3		3	56	9	47	
	⑦ 県 外 (県・市町村・その他)	4	8	9		1		3	2	1	4	1	1	34	1	31	2
	⑧ そ の 他		2		27			4		1	15		15	64	27	37	
計		77	156	183	204	131	150	182	102	82	89	70	50	1,476	479	967	30
相 談 分 野 別 内 訳	① 施 設	2	13	4	1		11	13	1	1	5	1	10	62		62	
	② 団 体 ・ グ ル ー プ						7		2		1			10		10	
	③ 人 材	10	18	16	13	5	14	12	4	9	8	3	8	120	3	115	2
	④ 催 し		9	1	1	2	23	11			8		8	63		62	1
	⑤ 図 書 ・ 資 料	10	11	28	48	34	15	16	17	31	35	14		259	223	36	
	⑥ 視 聴 覚 教 材	47	71	120	106	89	46	107	76	36	25	52	24	799	240	559	
	⑦ 資 格		1		1			2						4	2	2	
	⑧ 窓 口			1			20	11		1				33		33	
	⑨ そ の 他 (含先進地視察など)	8	33	13	34	1	14	10	2	4	7			126	10	113	3
計		77	156	183	204	131	150	182	102	82	89	70	50	1,476	478	992	6

注) 図書・資料利用者を含む。

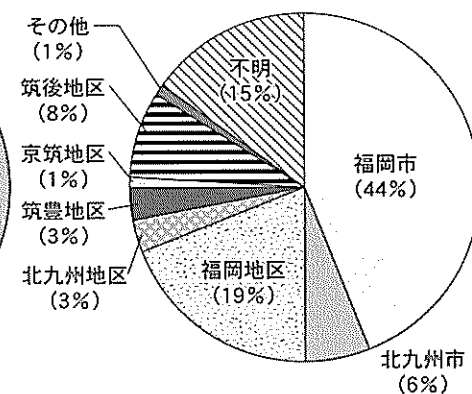
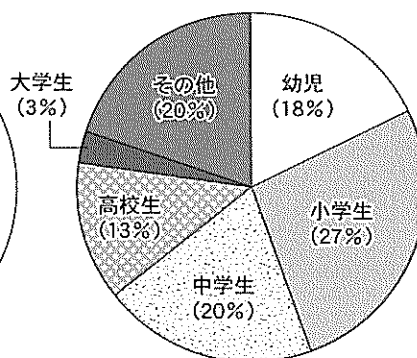
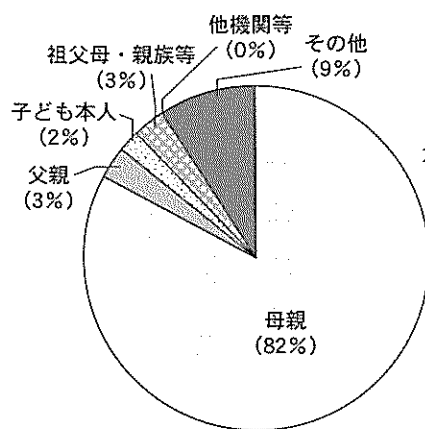
家庭教育相談「親・おや電話」

① 月別相談件数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼 間	77	98	99	94	74	88	95	73	68	65	67	74	972
夜 間	32	40	48	37	22	30	24	25	27	17	22	32	356
昼 + 夜	109	138	147	131	96	118	119	98	95	82	89	106	1328

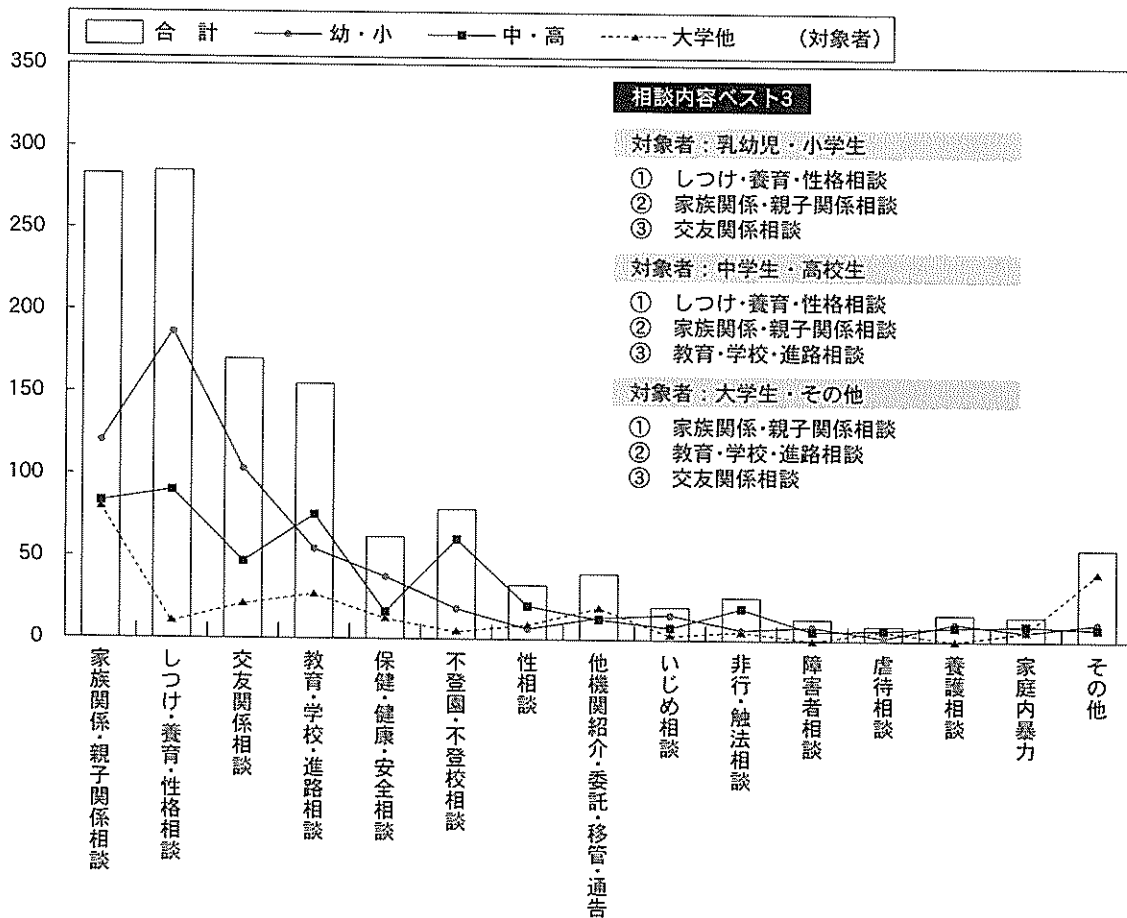
② 相談者・対象者・地区別相談件数

		昼 間	夜 間	昼 + 夜	割 合
相 談 件 数		972	356	1,328	100%
相 談 者	母 親	793	296	1,089	82%
	父 親	37	9	46	3%
	子 ど も 本 人	16	17	33	2%
	祖 父 母 ・ 親 族 等	28	6	34	3%
	他 機 関 等	3	1	4	0%
	そ の 他	95	27	122	9%
	小 計	972	356	1,328	100%
対 象 者	幼 児	141	100	241	18%
	小 学 生	266	89	355	27%
	中 学 生	191	68	259	20%
	高 校 生	138	33	171	13%
	大 学 生	19	19	38	3%
	そ の 他	217	47	264	20%
	小 計	972	356	1,328	100%
地 区	福 岡 市	401	177	578	44%
	北 九 州 市	57	26	83	6%
	福 岡 地 区	191	63	254	19%
	北 九 州 地 区	39	4	43	3%
	筑 豊 地 区	32	6	38	3%
	京 筑 地 区	14	1	15	1%
	筑 後 地 区	80	20	100	8%
	そ の 他	13	5	18	1%
	不 明	145	54	199	15%
	小 計	972	356	1,328	100%



③ 相談内容別相談件数

相談内容	対象者	昼 間			夜 間			昼 + 夜			合 計	割 合
		幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他		
家族関係・親子関係相談 (育児ストレス含む)		59	68	67	61	14	14	120	82	81	283	22%
しつけ・養育・性格相談		150	75	9	37	14	0	187	89	9	285	23%
交友関係相談(親同士含む)		76	33	15	29	12	5	105	45	20	170	13%
教育・学校・進路相談		42	57	24	13	17	2	55	74	26	155	12%
保健・健康・安全相談 (心身症・うつ・チック症含む)		18	9	6	19	5	5	37	14	11	62	5%
不登園・不登校相談		15	50	3	2	9	0	17	59	3	79	6%
性 相 談		4	9	5	4	9	2	8	18	7	33	3%
他機関紹介・委託・移管・通告		11	10	18	1	0	0	12	10	18	40	3%
いじめ相談(ケンカ含む)		12	5	1	2	0	0	14	5	1	20	2%
非行・触法相談		5	8	3	1	9	0	6	17	3	26	2%
障害者相談		4	2	0	6	1	0	10	3	0	13	1%
虐待相談		1	0	3	0	4	1	1	4	4	9	1%
養護相談		0	0	0	10	6	0	10	6	0	16	1%
家庭内暴力		2	4	1	2	3	3	4	7	4	15	1%
そ の 他		4	5	37	5	1	4	9	6	41	56	4%
合 計		403	335	192	192	104	36	595	439	228	1262	100%
		(不 明 42)			(不 明 24)			(不 明 66)				



相談内容別相談件数 (昼+夜)

施設概要

1 建築概要

- ・敷地面積 201,750m²
- ・建築面積 5,838m²
- ・建物延面積 12,492m²
- ・建築構造 鉄筋コンクリート造
- ・建築工事期間 起工 昭和57年11月19日
竣工 昭和59年3月31日
- ・総工事費 4,321,457,000円
- ・開所 昭和59年4月1日

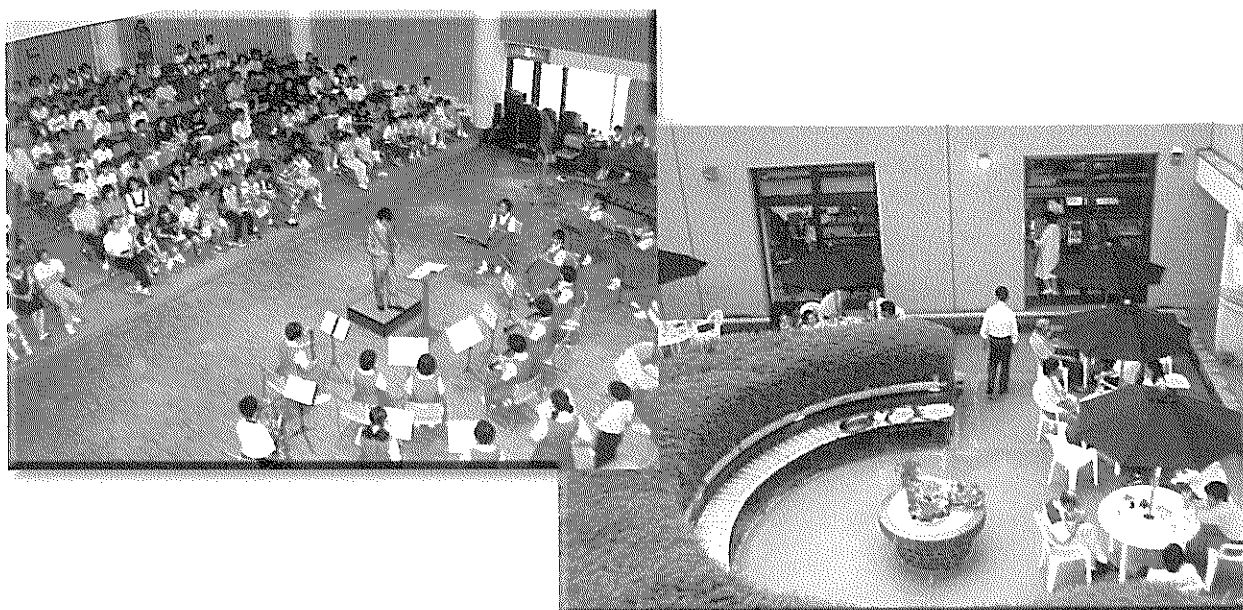
1階	2,725m ²
2階	4,958m ²
3階	2,434m ²
4階	2,315m ²
P1階 (塔屋)	60m ²

2 施設設備

① 宿泊施設・設備

階	施設名	面積 (m ²)	定員	機能	設備
2～4階	宿泊室	延べ 1,262	316ベッド	宿泊	4人用 11室 8人用 34室
2・3階	談話室	延べ 241		交流、研修	
3階	浴室	155		大浴室、中浴室、身体障害者用浴室	

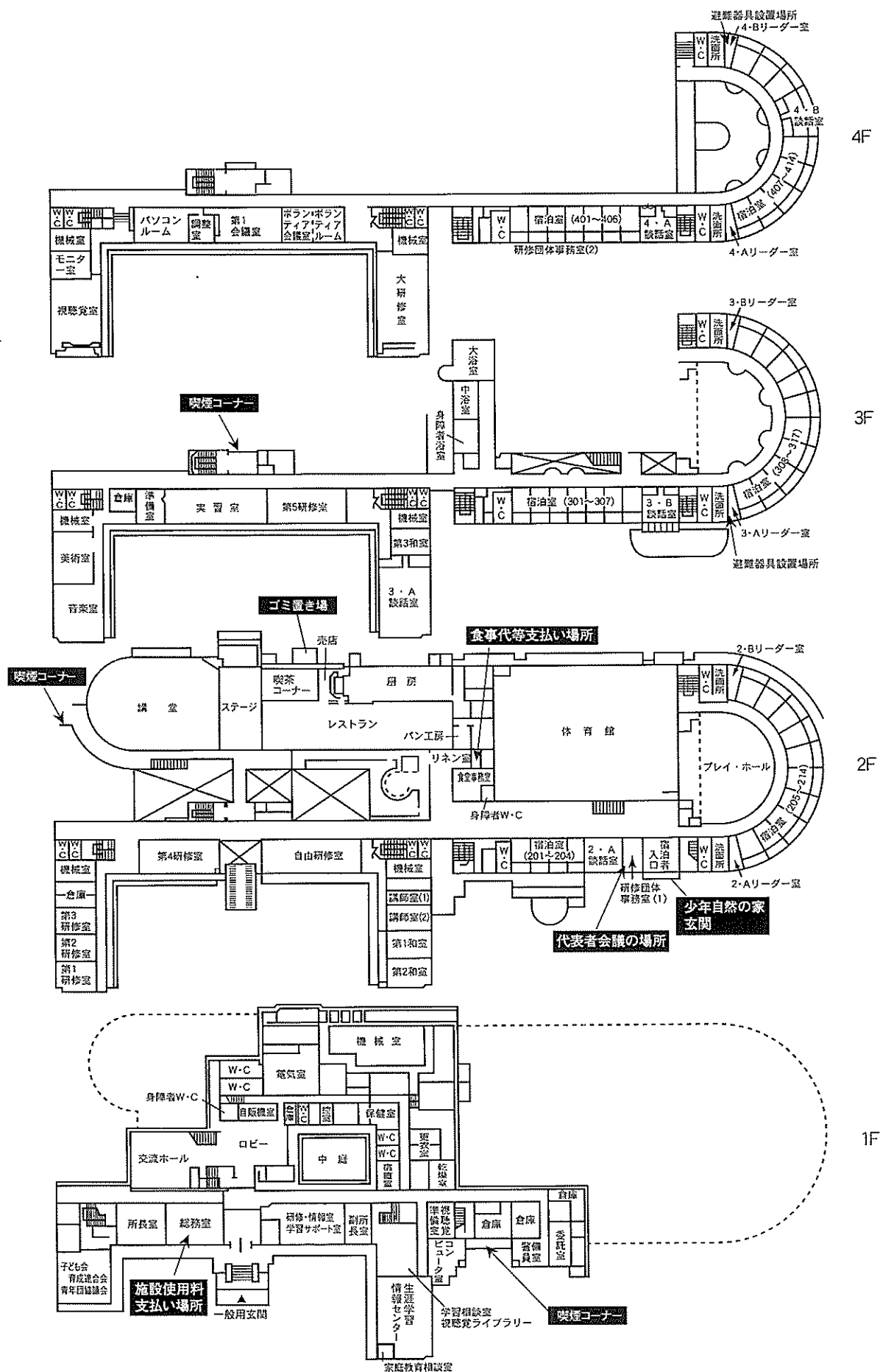
駐車場		80台		第1・第2駐車場
-----	--	-----	--	----------



② 研修施設・設備

階	室 名	定員(人)	機 能	設 備
4 階	視 聴 覚 室	80	視聴覚研修 (スロープ式研修室)	16ミリ・8ミリ映写機、ビデオ (VHS、 β 、Uマチック)、ステレオ、モニターテレビ、スライド
	パソコンルーム・調整室	20	パソコン研修	パソコン
	ボランティアルーム		ボランティアの交流	机、応接セット、書棚
	第 1 会 議 室	16	会議	机
	大 研 修 室	120	講義、研修	OHP、ビデオ (VHS)、16ミリ映写機、モニターテレビ
3 階	音 楽 室	40	ミニコンサート、音楽練習場	ピアノ、アコーディオン、ステレオ、円テーブル
	美 術 室	36	美術研修、工作	糸のこ切り、石こう像、版画プレス
	実 習 室	48	陶芸、七宝焼、木工の製作	陶芸窯、七宝焼炉、粘土ろくろ、木工具、金工具、電気のこ切り
	第 5 研 修 室	48	講義、研修	OHP、黒板、机
	和 室 (第 3)	12	和式研修、茶道、華道	座テーブル、茶道道具
2 階	講 堂	500	大会、研修室、講演室、映写会	16ミリ映写機、スライド映写機、ピアノ、ステージ、スクリーン
	レ ス ト ラ ン	238	茶話会、軽食、喫茶、クッキング	パン工房
	第 1 研 修 室	18	講義、研修	OHP、黒板、机、移動式モニター
	第 2 研 修 室	18		
	第 3 研 修 室	30		
	第 4 研 修 室	60		
	自 由 研 修 室	60		
	和室 (第 1・第 2)	45	和式研修室 (16畳・20畳)	座テーブル
	体 育 館		バレー 2 面、バドミントン 3 面、バスケットボール 1 面 (練習 2 面)、フリーテニス (3 面)	各種ネット、柔道畳、体力測定機
1 階	ブ レ イ ホ ール		軽スポーツ、交流の場、レクリエーション	オルガン
	資 料 室		生涯学習関係の図書、資料の閲覧	書棚、閲覧机
	交 流 ホ ール		交流、憩いの場、学習作品の展示	テレビ、応接セット、ピアノ、ビデオ
	控 室		講師控室、学習相談	机、応接セット
	所長室・事務室		所の管理運営	
野 外 施 設	視聴覚ライブラリー		視聴覚教材の貸出し、相談	16ミリ映画、ビデオ教材
	グ ラ ウ ンド	400	ソフトボール、サッカー	各種スポーツ用具
	野 外 炊 飯 場	100	調理炊飯	炊飯用具一式
	あじさい炊飯場	50	野外炊飯	調理台
	野 外 劇 場	60	キャンプファイヤー、レクリエーション、野外音楽	
	レクリエーション広場		レクリエーション	
	野 鳥 観 察 小 屋	30	野鳥観察	観察室、テーブル
	りんどう小屋	20	自然観察、天体観測、交流の場	荒天避難
	たけのこ広場	300	朝・夕のつどい、キャンプファイヤー	放送施設、全面舗装
	あじさい小屋	20	工作	陶芸窯
	あじさい広場	100	工作	

③ 施設平面図



福岡県視聴覚ライブラリー

① 視聴覚教材

社会教育総合センター内に県視聴覚ライブラリーを設置し、次のような教材の貸出をおこなっています。

16ミリフィルム	1,290本
ビデオ	2,321本
DVD	24本
合計	3,635本

領域の内訳

学 校 教 育	領 域	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	社 会 教 育	領 域	16ミリフィルム	ビデオ	DVD
	国 語	19	66	0		教 養 ・ 情 操	244	587	11
	社 会	82	251	0		健 康 ・ 体 力	69	107	3
	算 数 ・ 数 学	6	4	0		家 庭 生 活	56	80	0
	理 科	120	172	2		家 庭 教 育	111	303	1
	生 活 科	2	6	0		地 域 社 会 生 活	163	303	5
	音 楽	5	13	0		人 権 ・ 同 和	153	145	0
	図 工 ・ 美 術	16	16	0		国 民 生 活	37	109	2
	技 術 ・ 家 庭	8	19	0		国 際 性	17	60	0
	保 健 ・ 体 育	37	139	3		職 業 生 活 一 般	9	17	0
	道 徳	64	160	4		職 業 の 知 識 ・ 技 術	2	81	0
	特 別 活 動	78	367			学 習 者 の 特 性	52	69	2
						学 習 援 助 の 方 法	54	133	1
						社 会 教 育 施 設	18	7	0
						一 般 映 画	84	114	0
					自 作 ビデオ	県コンクール入賞作品		76	0
						社教センター作品		13	0
						アニメーション作品	189	200	4

(平成18年4月1日現在)

※所有本数と領域別の合計本数が異なるのは、1本のフィルム又はビデオが複数の領域で活用出来るためです。



利 用 案 内

当センターは、広く県民の生涯学習を推進する社会教育施設であり、いつでも、だれでも利用出来る体制を整備しています。

利 用 内 容		申 し 込 み 方 法 等	備 考
相 談	学習相談 (体験活動等に関する相談)	だれでも気軽に相談できます。 ☎092-948-0728 E-mail:soudan@fsg.pref.fukuoka.jp	専門の相談員を配置しています。電話による相談の他電子メールによる相談も受付けています。
	家庭教育相談「親・おや電話」	だれでも気軽に相談できます。 ☎092-947-3515 月曜日～土曜日まで9:00～24:00 (ただし、第2月曜日・祝日・年末年始を除く)	専門の相談員を配置しています。
図 書 資 料 閲 覧		資料室・ロビーの資料が閲覧できます。	
視 聴 覚 教 材 の 利 用		利用申し込みは利用の3か月前から受け付けます。電話での申し込みによる発送も行います。貸出期間は7日以内、一回の貸し出しは5本以内とします。郵送は無料、返送のみ負担してください。受付は休所日を除く毎日8:30～17:00 ☎092-947-3514	
研 修		主催事業と、学校やグループ団体等の研修の受入れをしています。適正な研修計画であれば、だれでも利用できます。また、5人以上であれば、宿泊研修もできます。 利用開始日の6か月前の月始めから1か月前までに申し込んでください。 事前に電話で相談してください。 ☎092-947-3511	ただし、全国規模の大会や研究集会、学校の教育計画として行う研修などで、特に必要があると認めた場合は1年前から申し込みを受け付けます。
見 学 ・ 視 察	団体	見学希望日の1週間前までに電話で申し込んでください。 ☎092-947-3511	
	個人	随時受け付けます。	

○休 所 日

毎月第2月曜日、第4日曜日、年末年始(12月28日～翌年1月4日)

○必要な経費

施設を使用する場合は、福岡県立社会教育総合センター使用料条例(昭和58年福岡県条例第24号)に定める使用料が必要です。

その他、食費として朝食380円(小370円・幼200円)、昼食590円(小560円・幼300円)、夕食660円(小620円・幼330円)と、宿泊研修の場合、シーツのクリーニング代120円が必要です。

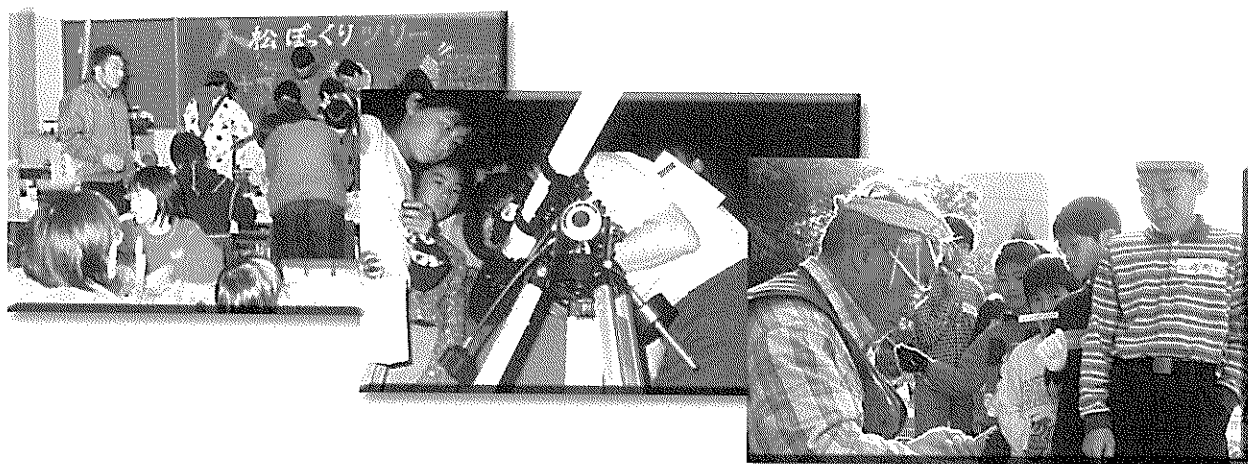
※()内の小は小学生料金、幼は幼児(4歳以上就学前)料金です。

使用料一覧

研修室使用料一覧表

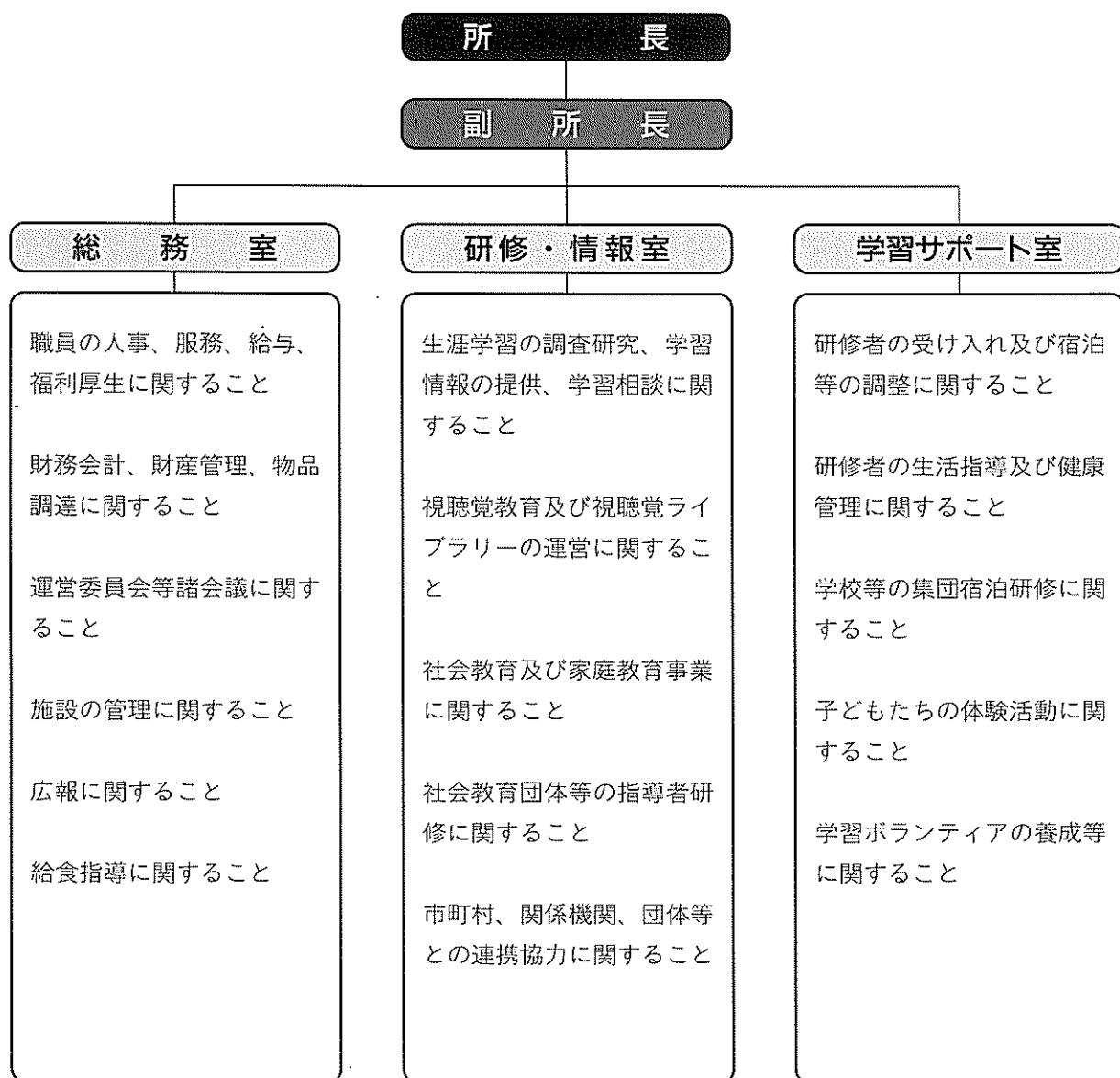
	利用時間 ↓ 研修室	9 : 00 ↓ 12 : 00	13 : 00 ↓ 17 : 00	19 : 00 ↓ 21 : 00	9 : 00 ↓ 17 : 00	13 : 00 ↓ 21 : 00	9 : 00 ↓ 21 : 00
2 F	第 1 研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第 2 研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第 3 研修室	1,050円	1,400円	700円	2,800円	2,800円	4,200円
	第 4 研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	自由研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	第 1 和 室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第 2 和 室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	講 堂	10,680円	14,240円	7,120円	28,480円	28,480円	42,720円
3 F	音 楽 室	2,490円	3,320円	1,660円	6,640円	6,640円	9,960円
	美 術 室	1,410円	1,880円	940円	3,760円	3,760円	5,640円
4 F	大 研 修 室	3,180円	4,240円	2,120円	8,480円	8,480円	12,720円
	視 聴 覚 室	3,540円	4,720円	2,360円	9,440円	9,440円	14,160円
	宿 泊 室	1 人 1 泊につき1,180円					

※料金は税込みです。研修に必要な機材等の要望がありましたら、あらかじめ学習サポート室にお問い合わせください。(092-947-3511)





組織・機構



社会教育総合センターのグループ制の運営

当センターでは、総務室、研修・情報室、学習サポート室の各室長のもと、6名の主任による班編成や、下記のとおり室を超えてのプロジェクトチーム等を活用しながら、施策・業務の弾力的運営、効率化をめざしています。

- ① 広報チーム
- ② 危機管理・環境整備対策チーム
- ③ 子ども体験・家庭教育調整チーム
- ④ 大規模屋上改修チーム

職員数

(平成18年度)

		常勤職員	非常勤職員	臨時職員	計
職員数	所 長	1			1
	副 所 長	1			1
	総 務 室	4	1	1	6
	研 修 ・ 情 報 室	8	10	1	19
	学 習 サ ポ ー ト 室	5	7		12
視 聴 覚 教 育 協 会				1	1
計		19	18	3	40

職員一覧

所 長 菊 川 律 子
副所長 宮 野 哲 美

室名	室長	室 員	
総務室	宮本裕一	○企画主査 藤田益彦 主任主事 藤原幸子 主 事 三村哲平	技術嘱託 末永あゆみ 臨時職員 猪上玲子
研修・情報室	諏訪康夫	○企画主査 竹森雅治 ○主任社会教育主事 恵良章 ○主任社会教育主事 古賀靖紀 社会教育主事 朝比奈昌二 社会教育主事 中村祐司 社会教育主事 菅原順子 主 事 吉村祥一 指導員 井上光枝 指導員 黒葛原志保子	指導員 三根弘子 相談員 井口弥江 相談員 山口紀美代 相談員 深浦一子 相談員 相戸晴子 相談員 檜原理香 相談員 鴨尾明子 相談員 吉川玲子 推進コーディネーター 木ノ原元美
学習サポート室	團 茂樹	○指導主事 高 寄 隆 之 ○指導主事 小 野 稔 社会教育主事 安 藤 俊 貴 社会教育主事補 山 崎 陽 子 指導員 井 手 賢 一 郎 指導員 武 富 時 敏	指導員 具 島 幸 子 指導員 井 手 裕 司 指導員 萩 尾 志 穂 美 指導員 近 藤 潤 一 指導員 仲 野 夏 海

※○印は主任

視聴覚教育協会	臨時職員 藤井麻湖
---------	-----------



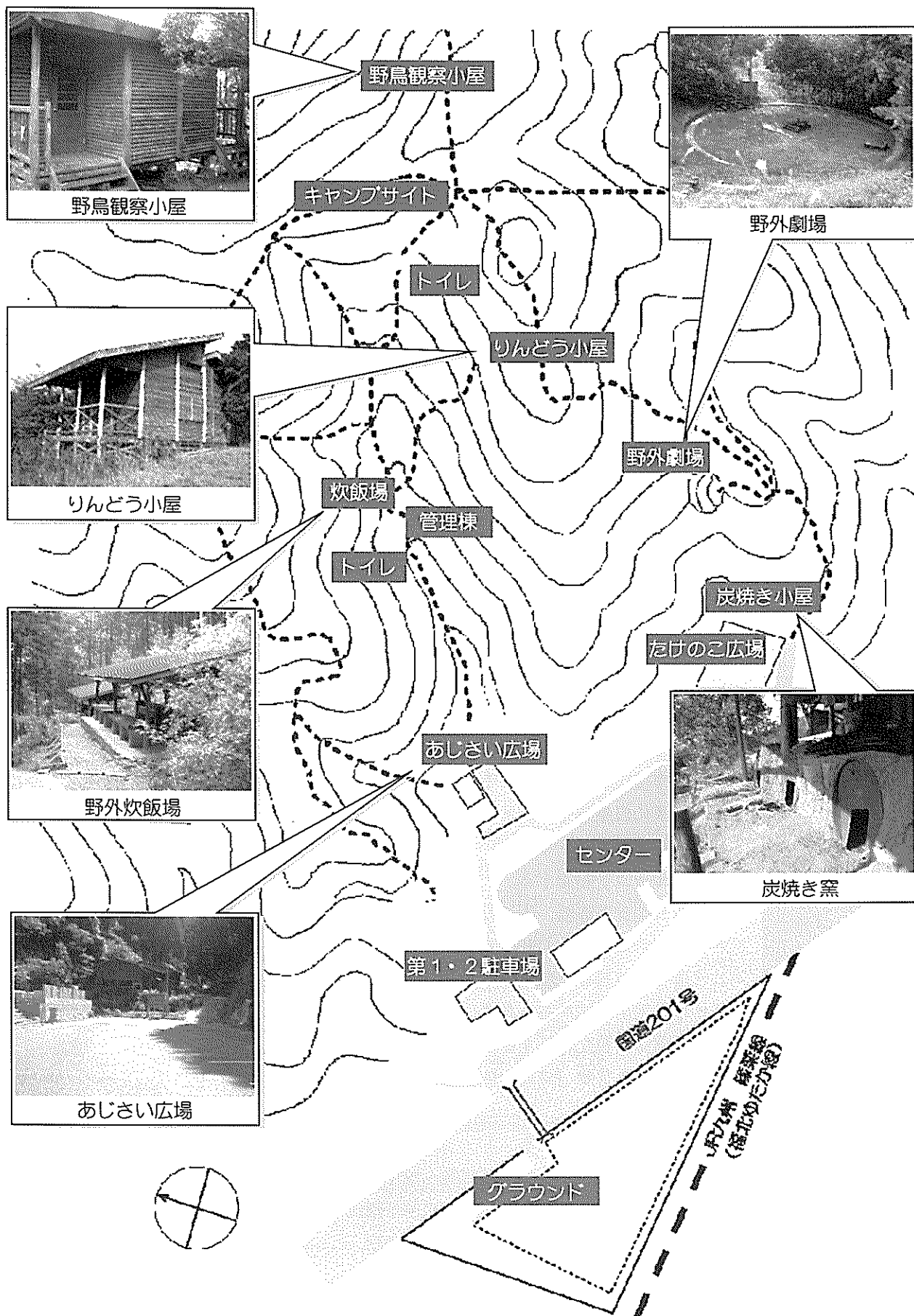
沿

革

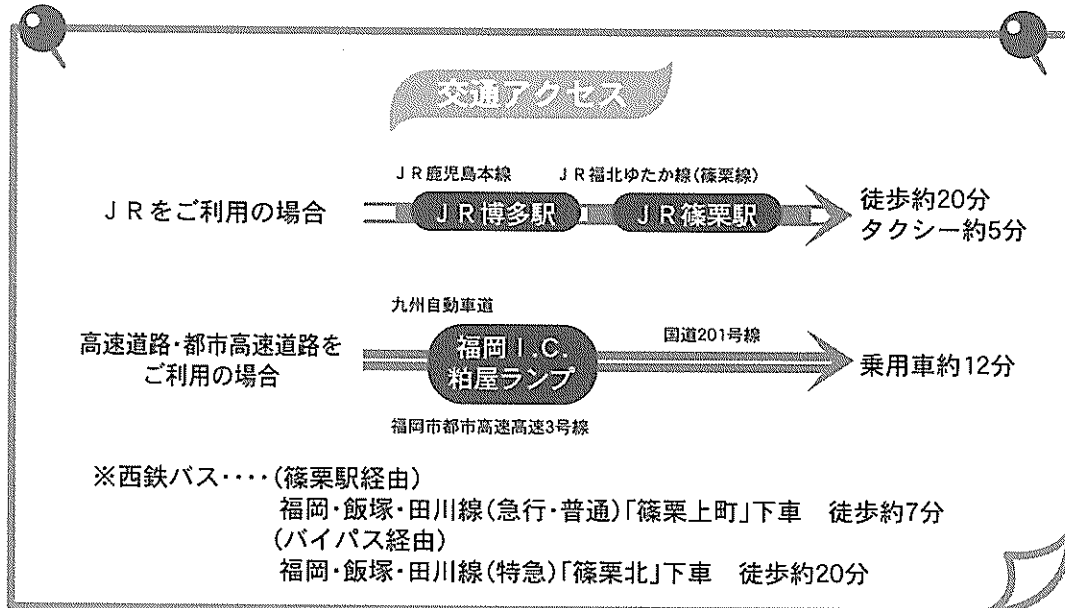
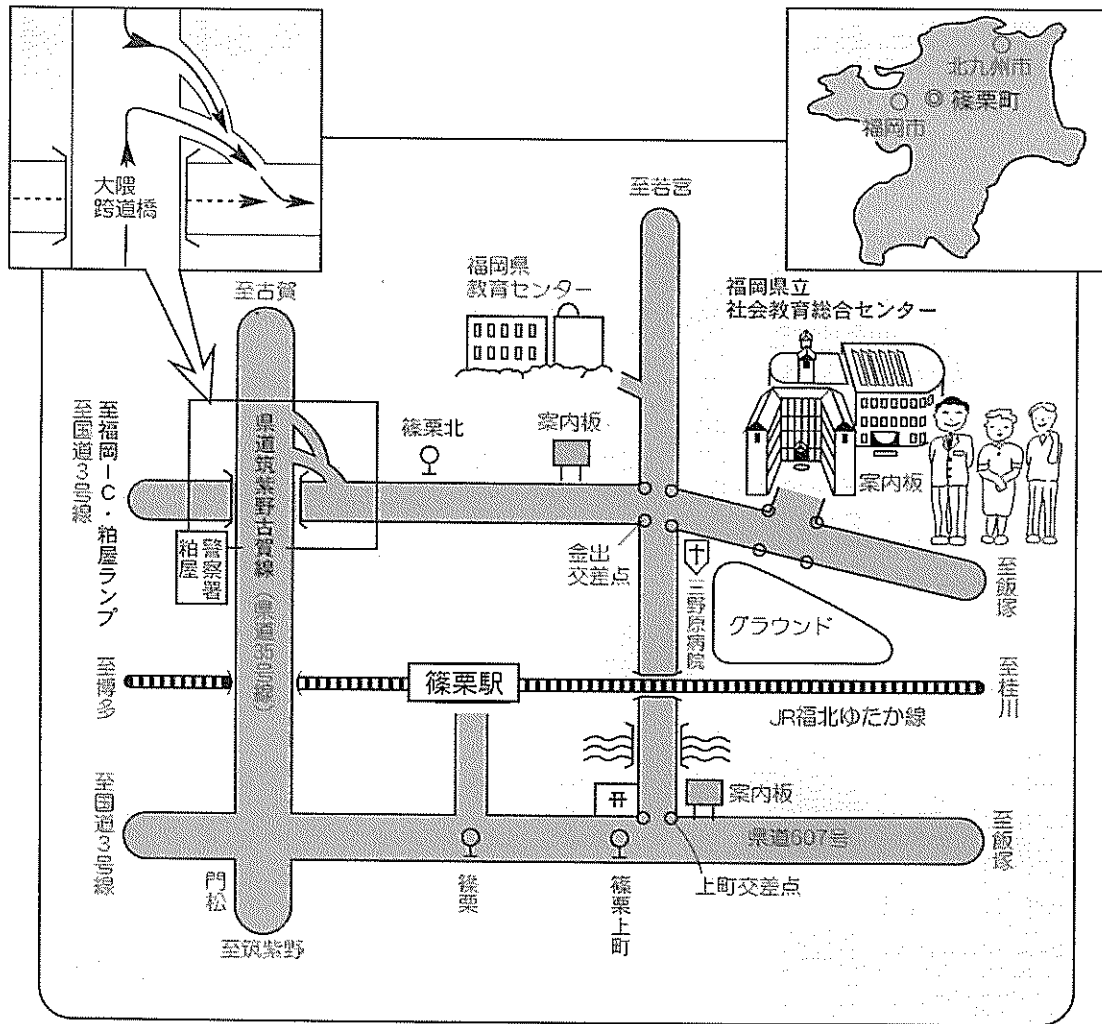
昭和53年 9月27日	県社会教育委員の会議で社会教育総合センターの設置についての機運が高まる。
10月 6日	県議会一般質問で社会教育総合センターの設置について質問がでる。
12月 4日	県社会教育委員の会議が県教育委員会に対して、社会教育総合センターの早期設置を建議する。
12月14日	県議会一般質問で社会教育総合センターの設置について、知事は、昭和54年度に調査費を計上し、昭和55年度に着工したい旨答弁する。
昭和54年 1月30日	社会教育関係団体が、16団体の連名で、県立総合社会教育施設の早期実現について知事に陳情する。
4月以降	社会教育課、青少年対策課を中心に先進地調査、準備委員会の人選などに入る。
7月18日	昭和54年度当初予算で調査費として、社会教育課、青少年対策課に各100万円が計上される。
11月28日	社会教育総合センター建設用地として糟屋郡篠栗町が浮上する。
12月10日	「第1回意見を聴く会」が開催される。社会教育総合センターの機能、施設内容について協議する。
12月21日	「第2回意見を聴く会」が開催される。事業内容、建設用地について協議する。
12月28日	篠栗町議会が全員協議会で社会教育総合センターの誘致を決議する。
昭和55年 1月19日	「第3回意見を聴く会」が開催される。
8月 8日	社会教育総合センター建設用地が篠栗町に決まる。
昭和57年 1月11日	造成工事に着工する。
11月19日	建築工事に着工する。
12月10日	造成工事が完了する。
昭和58年 4月 1日	福岡県立社会教育総合センター設立準備担当職員5人が発令される（社会教育課内）。
12月26日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例（昭和58年福岡県条例第24号）が公布される。
昭和59年 1月10日	福岡県立社会教育総合センター設立準備室が社会教育課内に設置（職員7人）される。
1月10日	研修団体の利用申込みの受付を始める。
1月26日	建築工事定礎式が行われる。
3月 1日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家組織規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第1号）が公布される。
3月 1日	福岡県立社会教育総合センター等の利用等に関する規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第3号）が公布される。
3月15日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例施行規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第9号）が公布される。
4月 1日	福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（昭和58年福岡県条例第23号）により、福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家が設置される。
4月 1日	安部徹所長（県教育庁教育次長兼任）以下34人が福岡県立社会教育総合センター職員に発布される。
4月10日	福岡県視聴覚教育協会事務局の社会教育総合センター内への移転に伴い、県視聴覚ライブラリーを同センターに開設する。
8月20日	社会教育総合センターの所章（シンボルマーク）が決まる。
9月10日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家の落成式を挙げる。

昭和60年3月9日	野外活動施設(野鳥観察小屋、野外劇場、レクリエーション広場、体育庫、避難小屋)が完成する。
5月16日	視聴覚教材の利用等に関する規則(昭和60年福岡県教育委員会規則第7号)が公布される。
昭和61年4月1日	第2代所長に加来宣幸、次長に高倉豊が就任する。
12月20日	上山窯が完成する。
昭和63年4月1日	第3代所長に山口春禮、次長に古賀雉里が就任する。
平成元年4月1日	第4代所長に濱地甫伯が就任する。
6月14日	第5代所長に鹿毛勲臣が就任する。
7月	社会教育総合センター施設ボランティア「若杉の会」が発足する。
平成3年4月1日	副所長に小野敏弘が就任する。
平成4年4月1日	第6代所長に窪田康徳が就任する。
7月24日	社会教育総合センターの利用者が100万人を突破する。
12月24日	キャンプ炊飯場新設。
平成5年4月1日	第7代所長に松崎輝生が就任する。
平成6年4月1日	第8代所長に大神俊明、副所長に石川元彬が就任する。
10月16日	あじさい小屋が完成する。
平成8年4月1日	第9代所長に森本精造、副所長に弥永親一が就任する。
9月1日	施設ボランティア「若杉の会」の名称を学習ボランティア「若杉の会」に変更する。
平成10年4月1日	副所長に伊藤高次が就任する。
5月	ふくおか生涯学習ネットワーク運用開始する。
7月14日	レストランがバイキング化され、パン工房が設置される。
平成11年2月12日	炭焼窯が完成する。
3月	学習ボランティア「若杉の会」10年のあゆみを発行し、5月8日に10周年記念交流会を開催する。
4月1日	副所長に正平辰男が就任する。
平成12年3月31日	山道等災害復旧工事が完了する。
4月1日	第10代所長に瓜生浩平、副所長に原宜賢が就任する。
4月	ふじっ子林道が開通する。
平成13年2月	パソコンルームを設置する。
4月1日	第11代所長に安野義勝、副所長に宿里聡士が就任する。
11月18日	社会教育総合センターの利用者が200万人を突破する。
平成14年4月1日	第12代所長に重松孝士が就任する。
平成15年3月	緊急地域雇用創出特別基金事業により、山林を整備する。
平成15年4月1日	副所長に濱田信也が就任する。
平成15年11月14日	創立20周年記念行事(式典、体験活動フォーラム、体験活動カーニバル)を実施。
平成15年12月1日	正門前に信号機設置。
平成16年3月31日	あじさい炊飯場が完成する。
平成16年4月1日	福岡県立社会教育総合センター組織・機構改編(グループ制導入)
平成17年4月1日	第13代所長に菊川律子、副所長に高橋章が就任する。
10月1日	ホームページ「ふくおか子育てパーク」開設
平成18年4月1日	副所長に宮野哲美が就任する。

施設配置図



交通案内



子育て
お役立ち情報

出会い 学び つながるサイト

<http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp>

ふくおか 子育てパーク

出会い、学び、つながるサイト

探したいキーワードを入力してね！

検索

学ぶ

contents

子育てWEB講座

パソコンで子育てを楽しく学習

乳幼児編
学童期編
思春期編

子育てe-ねっと

子育ての半ドン・悩みに
お答え

連載子育てコラム

リレー子育てブログ

聞かせて！VOICE

アンケートにあなたの
声を投票しよう！

子育てグループ情報

福岡県のサークルやフ
リースペースを紹介し
ます

講座・イベント情報

楽しいイベントに参加
しよう！

リンク集

子育て・家庭教育に関
するリンク集です

お役立ち子育て情報をお届け

メルマガ読者募集！

新着情報

2005-10-19 携帯サイト オープンしました。
2005-10-12 連載子育てコラム第2話「おとなの女性」掲載
2005-10-11 子育てグループ情報2件追加しました。
2005-10-1 ふくおか子育てパーク本日オープン！
2005-9-27 ふくおか子育てパークは、10月1日オープンです！

子育てWEB講座

パソコンで子育てを楽しく学習しよう

乳幼児編
学童期編
思春期編

子育てe-ねっと

子育てに関する質問をどうぞ

>>>詳しく見る

連載子育てコラム

リレー子育てブログ

>>>詳しく見る

聞かせて！VOICE

アンケートでみんなの声を知ろう！

>>>詳しく見る

子育てグループ情報

サークルやフリースペースを紹介します

>>>詳しく見る

講座・イベント情報

楽しいイベントに参加しよう！

>>>詳しく見る

このHPIは文部科学省「ITを活用した次世代型家庭教育支援手法開発事業」の一環として福岡県立社会教育総合センターが開発しているものです。この事業は調査事業です。皆様と共によりよいものに育てていきたいと考えております。

電話による24時間対応家庭教育相談はこちらへ



福岡県立社会教育総合センター「親・おや電話」

Tel. 092 (947) 3515

毎月届くメルマガでタイムリーな情報GET！
登録は裏面を見てね

携帯サイトはこちら

<http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/m/>

お問い合わせ

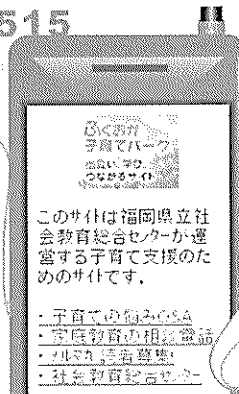
〒811-2402

福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2

福岡県立社会教育総合センター

092-947-3511

info@kosodate.pref.fukuoka.jp



〒811-2402

福岡県糟屋郡篠栗町大

字金出3350-2

Tel.092-947-3511

Fax.092-947-8029

みなさんの学びをサポートします

ふくおか生涯学習ネットワーク



URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>

ふくおか生涯学習ネットワークでは・・・

県内10カ所の社会教育関係施設の情報を閲覧できるほか、県内のスポーツ情報、文化財の情報、市町村の情報及び下記の情報を取得できます。

- 講座情報**
県民の方が参加できる講座・教室・講演会の情報及びその開設機関の情報検索ができます。
- 研修情報**
家庭教育・青少年教育・社会教育・学校教育・婦人教育・成人教育・視聴覚教育・ボランティア活動関係の研修情報を提供しています。
- 講師情報**
県内全域で活動できる各分野の講師・指導者の情報検索ができます。
- 図書情報**
県立図書館の横断検索により、福岡県内のおもな公立図書館の和図書の蔵書検索ができます。
- 視聴覚教材情報**
県視聴覚ライブラリーの貸出可能な16ミリフィルム、ビデオテープの情報検索ができます。
- お知らせ**
生涯学習・社会教育に関する関連情報を提供しています。
- 掲示板**
生涯学習に興味をお持ちの方が、自由に情報交換を行うことができる電子掲示板です。
- メールマガジン**
希望される方に、県や市町村等の生涯学習・社会教育情報を電子メールで送付します。

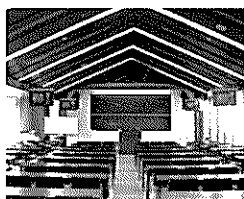
学校や団体、企業研修に最適です

5人以上の
グループならば
どなたでも
利用できます

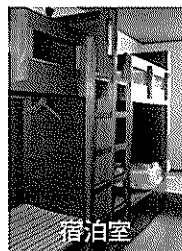
野外活動やスポーツ活動等の学習のために、
体育館、プレイホールを始め、
自然散策コース・登山・ハイキングコース・野外炊飯場
などを整備しています。

設備紹介

用途室	定員
講堂	500名
大研修室	120名
視聴覚室	80名
体育館	—
野外炊飯	100名
宿泊室	316名
第1～第4研修室	18名～60名
自由研修室	60名
和室(第1・第2)	45名
グラウンド	—



大研修室



宿泊室



レストラン

料金のご案内

宿泊室	1人1泊	1,180円
レストラン	朝食	380円
	昼食	590円
	夕食	660円
フーズカリーニング	1セット(2枚)	120円

施設使用料金には、免除や減額の規定があります。

●ふくおか生涯学習ネットワーク

<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>

講師情報・講座情報など学びの入口

●ふくおか子育てパーク

<http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>

子育て講座や相談など子育て情報満載

●家庭教育相談「親・おや電話」

TEL 092-947-3515

子育ての悩みなど気軽にお電話ください

●学習相談

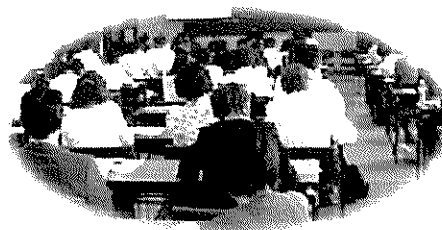
TEL 092-948-0728

人材情報や講座の企画などお尋ねください

●視聴覚ライブラリー

TEL 092-947-3514

教育に関するビデオや16ミリなど3,500本



いろいろな
研修や
活動に
利用されています



● お問い合わせ ●

福岡県立社会教育総合センター

〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町金出3350-2

TEL 092-947-3511

FAX 092-947-8029